

一般質問

新たな視点でまちづくりを



東近江市民クラブ

西澤 由男

問 当市の健康寿命の延伸について、

①現状と取り組みは。

②広域な地域の特性に合わせた延伸計画を作る必要があるのでは。

また、その実践がまちづくりに寄与するのでは。

③成果を上げるには、専門家や指導員などの人材の配置が必要では。

答 ①当市では、健康づくりと生活習慣病の発症・重症化の予防、介護予防や自分に合った運動をする人を増やすことが重要と考え、部局横断的な取り組みを進めます。②市内14地区に担当保健師を配置し、地区ごとの健康課題と目標を定め、健康推進員やまち協などと共有しながら事業を進めています。

また、当市では多様な活動が可能であり、

ちづくりも含め、人口増加にもつなげていきたいと考えています。

③健康づくり推進協議会の意見を参考に、地域の集まりの場に理学療法士やスポーツ推進委員、運動指導士などが出向き、効果的で安全な健康づくりの指導に努めます。



東近江市はロケ地の宝庫

①琵琶湖から鈴鹿までの豊かな地形と歴史資産は、映画やドラマのロケ地としても価値が高いのでは。

②滋賀ロケーションオフィスと連携して、情報の共有化や事業誘致を促進するため、職員を派遣するなどの取り組みを進めては。

③リゲインハウス用地の活用は、地域活性化に大きく寄与すると考えるが。

答 ①当市は、これまでもロケ地として高い評価を受け、活用をしていただいています。引き続き、関係機関と連携を深め、誘致の促進と魅力の発信を続けます。②職員の派遣は、観光振興への効果が不透明なため、今後の検討課題とします。③リゲインハウス用地は、県とも活用を検討中であり、地域の活性化に繋がるよう協議を進めます。

問 豊かな地形と歴史文化をもった市域を活かす施策として、

産業創造 働く場をつくる



東近江市民クラブ

市木 徹

問 東近江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標には、働き、住み続けたい活力ある東近江市の創生とある。

安定した雇用の創出について、新たな雇用創出やものづくり産業の活性化を図るため、経済波及効果の高い産業分野における、需要拡大につながる産業支援策を講ずるとしているが、その産業支援策とは。

答 長引くデフレからの脱却と経済再生を図るため、消費税率引き上げによる駆け込み需要とその反動減の影響を緩和し、景気の下振れリスクに対し、経済波及効果の高い住宅リフォーム支援事業のほか、創業、起業、ベンチャー等を目指す事業者を育成するための起業塾、創業塾の開催など、地域経済の好循環に寄与

する事業を総合的にを行います。

問 短期的にみると、リフォームや建築業の経済波及効果は高いが、長期的な支援策には向かない。

なぜならば、投資をし続けなければならないからである。

経済波及効果が低くとも、地元にある資源・産業は希少価値があると捉え、農林水産と採算だけでは語れない伝統のものづくりを、新しい発想で考えることが大切だ。Uターン・リターンの促進を図るためにも、働く場の創生が必要であり、起業・創業支援に取り組む必要がある。

各地で産官学金の連携で、起業・育成に成功している事例

があり、県内でも長浜サイエンスパークや立命館大学びわこ草津キャンパスにおいて実績が報告されている。

総合戦略の一つとして、当市の規模にあった、官が主導する起業育成機関（インキュベーションセンター）設置の考えは。

答 現在、当市に立地いただけるのか、大学も含め連携ができればと考えています。



大学内に設置されたインキュベーションセンター